

船舶事故等調査報告書

平成24年8月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第75号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年3月22日 01時30分ごろ	
発生場所	宮崎県宮崎市内海港 内海港防波堤灯台から真方位314° 180m付近 (概位 北緯31° 45.4' 東経131° 28.4')	
事故等調査の経過	平成24年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 <sup>しょうせい</sup> 松星丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	141141、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	不詳	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、鋼材約1,700tを積載し、船首約3.5m、船尾約4.5mの喫水で内海港を港内北西奥の岸壁に向かって航行していた。</p> <p>船長は、港内に浅所が多数存在することを知っていたが、これまでに数回入出航した際は、問題なく入出航できたことから、今回も大丈夫だと思って潮汐を考慮せずに目的の岸壁に接近中、平成24年3月22日01時30分ごろ、岸壁まで約250mの地点において、船底に衝撃を感じるとともに、船体が停止した。</p> <p>本船は、船長が、浸水のないことを確認したのち、潮位の上昇を待って自力離礁し、03時ごろ目的の岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約60cm</p>	
その他の事項	<p>船長は、潮位の低い時間帯における内海港への入航は今回が初めてであった。</p> <p>海図によれば、本事故発生場所付近の水深は3.4m、底質は泥である。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、内海港を港内北西奥の岸壁に向けて航行中、船長が、浅所の存在を知っていたが、乗り揚げることはないと思い込み、潮汐を考慮しなかったことから、港内の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、内海港を港内北西奥の岸壁に向けて航行中、船長が潮汐を考慮しなかったため、港内の浅所に乗り揚げたことにより発	

	生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・水深、潮高及び喫水を勘案し、余裕水深が確保できるまで港外待機すること。</li></ul>